



那覇市消防本部は16日、事故現場でのドクターヘリとドクターカーとの連携を確認す

る訓練を那覇港大型旅客船バース(若狭バース)で実施した。訓練には県のドクターヘリと南部徳洲会病院ドクターカーが出動、各機関



ドクターヘリやドクターカーで事故現場に駆け付け、救命措置にあたる医師ら。16日、那覇港大型旅客船バース

救急隊と医師が連携

の36人が参加した。救急隊と医師らが連携し、連絡体制や事故現場での迅速な救命対応を確認した。

訓練は海に車両が転落したと想定。第一発見者からの通報とほぼ同時に、消防が読谷のヘリポートで待機しているドクターヘリにも出発を要請。ヘリの飛行時間や着陸

那覇港で救命訓練

場所、負傷者の現場での救命措置の在り方などを確認した。

訓練を指揮した徳元律夫同市消防本部西消防署長は「異なった機関の合同訓練は情報伝達が重要。今回はスムーズにできたと思う。訓練を積み重ね、精度の高い実践につなげたい」と語った。



動画